

輝なんせ鳥取

2015.3
第23号



若葉台地区公民館「ほっとけ連」



NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会



元気で輝く明德地区協議会



美保南まちづくり協議会



湖南地区まちづくり協議会

— 目次 —

- 男女共同参画による地域活性化提案型
モデル事業 2・3・4・5
- ★ 元気で輝く明德地区協議会
- ★ 若葉台地区公民館「ほっとけ連」
- ★ 美保南まちづくり協議会
- ★ NPO 法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会
- ★ 湖南地区まちづくり協議会
- 鳥取市男女共同参画自主企画事業
わたしを求めて『GO!!YAH!!』 6

男女共同参画による

地域から
男女共同参画！

地域活性化提案型モデル事業

地域がもっと活性化し、元気な地域になるには・・・誰もが性別に関わりなく、個性や能力を十分に発揮してさまざまな活動に参画できる環境づくりが重要な鍵になっています。

男女共同参画をすすめていくには、まず地域から。

鳥取市では平成 24 年度から「男女共同参画による地域活性化提案型モデル事業」を取り入れ、地域ごとに実情に沿った事業の展開を図っています（H 24 採用：3 団体、H 25 採用：2 団体）。

現在、5 団体がそれぞれの特色に合った活動に取り組んでおられます。各団体の活動内容、関係者の方へのインタビューから見えたことをみなさまにご紹介したいと思います。

1 元気で輝く明德地区協議会



主な実施事業

H 24

- ・食と健康講演会
- ・地区総合防災訓練



- ・パパと子のふれあいエクササイズ
- ・男の調理実習

H 25

- ・健康ふれあいウォーク
- ・高齢者交通安全教室
- ・女性の会研修（薬膳教室）

H 26

- ・女性交通安全教室



山崎館長さん

明德地区は昭和 24 年、明德小学校の誕生によって形成された地区であり、少子高齢化の波と共に人口減少という現実を抱えながら、平成 22 年度に設立された「元気で輝く明德地区協議会」を中心に公民館と連携しながら世代間を超えた事業を展開されています。

どうやったら地域の活性化が図れるのか・・・そのためには、女性の役員、リーダーの育成の土壌づくりが大切ということに着眼し、モデル事業に取り組まれたことに先見の明を感じます。

実際に 25 年度には“女性の会”において、役員の若返りが図られ、地区納涼祭、運動会、文化祭の行事などへの積極的な関わりや、慣習にとらわれない発想が新たな事業を生み出すことにもつながり、行動的になったとの成果がみられているようです。

女性だけを対象にした“女性交通安全教室”のように、日ごろ感じていること、気になることを女性ならではの視点で事業を見つけてくる・・・そんな新体制のもと、生き生きと活動されている様子が浮かんできました。

誰もが「心豊かで」、「住んでよかった」といえる地域づくりを目指しています・・・山崎館長さんからいただいた名刺の裏面に力強く掲げられていました。

みんなの願い、次世代にも受けつがれていきますように。

（記：K 編集委員）

2 若葉台地区公民館「ほっとけ連」



主な実施事業

H 24

・講演会

★若葉台周辺のむかし話



★考えてみよう「まちづくり」

★子どもの笑顔を見るために

H 25

・わかばカフェ（雑学講座）

★刻（とき）のはなし

★暦のはなし

★往時茫茫、平家残照

★お天気のはなし

H 26

・わかばカフェ（雑学講座）

★若桜の方言

★危機から乗り越える町づくり

講師：小林昌司若桜町長

・あすてらす（公益財団法人しまね女性センター）視察研修



代表の太田さん

ここ若葉台地区は平成元年に入居が始まった新しい町でもあり、人と人とのつながりをどうやって構築するかが課題であるようです。ともに連携を図れるように・・・との願いがあつて集まった個性豊かなメンバーの集まり「ほっとけ連」。メンバーによる会話の中で出た好奇心から実現した数々の企画の中に、“この周辺はどうなるとるだいや？”で始まった「若葉台周辺のむかし話」講演会があります。入江宜明先生による講演に集まった人数は約70人。思いがけずたくさん集まったことで、“次はなにしようか？”と大変励みになったとのこと。

25年度では、若葉台周辺のお天気の話から“天気の話はプロに聞いてみるか！”というわけで、なんと日ごろからテレビでお世話になっているNHK放送局に電話。直接、気象予報士の藤田友香さんに依頼し快諾を得、これもまた実現した。これらの話を聞いていても、ひらめきから行動までが実に早く、フットワークの良さも「ほっとけ連」の魅力なのかもしれません。人が集まる仕組みを考え、行動しなければ。集まらないことには広がりも生まれませんし、次につながることもできない。力強く語るメンバーの方の言葉に、頼もしさを感じました。

（記：センター職員）

3 美保南まちづくり協議会



主な実施事業

H 24

・男女共同参画のアンケート実施

H 25

・アンケートの集計・分析

・女性による女性のための

女性だけの救急救命講習会

H 26

・自分たちのまちの防災を考える研修会

・男女共同参画講演会

老若男女の智慧を出し合おう

～防災・減災のまちづくり～



H 26 防災研修の様子



新旧混住地域で、核となる行事等がなく年代や価値観の違う住人の方々に関心を持ってもらえるような事業を計画することがむずかしい地域です。「女性による、女性のための、女性だけの救急救命講習会」という、着眼点の斬新さに感嘆しました。男性がいるとどうしても遠慮しがちになっていたこれまでの経験を生かし、「女性限定」という切り口にしたことで、参加しやすくなり、日中女性と子どもだけになる子育て世代にとっても、有難い事業であったと想像できます。モデル事業を活用した事業に取り組んだことで、地域での男女共同参画の取り組みの方向性がしっかりとみえてきたという印象をうけました。

この3年間を生かして、今後も地域防災力向上と女性の地域活動での活躍の場面づくりに力を入れていきたいという事務局長の決意が感じられました。

(記：Y 編集委員)



澤野さん 白井館長さん

4 NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会



主な実施事業

H 25

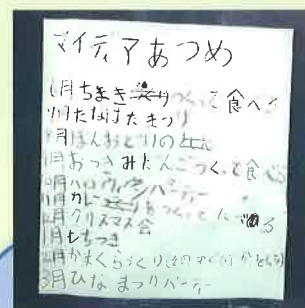
- ・クリスマスイベント
- ・節分イベント

H 26

- ・みんなでこいのぼりを作ろう！
- ・おいしいちまきを作ろう！！
- ・七夕まつり
- ・節分イベント



佐々木理事長さん、大石理事さん、谷川さん



協議会にある黒板には、子ども直筆の計画表が掲示されています！

次世代、子どもたちを中心として大人（保護者層）のつながりも生まれているという印象をうけました。さらに、イベントの内容に、子どもの発想を取り入れている点は、地域の子どもたちが自分も参画しているという実感が持てるであろうし、今後の地域のリーダーにつながっていくのではないかと期待が膨らみます。市民を中心に設立された協議会だからなのか、主催者が楽しんでしているという印象を強くうけました。事業をするときは自分たちも楽しむという姿勢は、周りにも波及するということを学ばせて頂いた時間でした。

(記：Y 編集委員)

“いんしゅう鹿野まちづくり協議会”は平成13年に「自分たちの町は自分たちで面白くするしかない」という思いから発足。美しい街並み・祭り・空き家の活用・他地域との交流など、活動は多岐にわたる。H26年5月の“このほりづくり”のイベントに二人の子どもが参加し、「こんなことして欲しい」と紙にアイデアを書いた。そのアイデアを大切に、一つ一つ形にしてきた。“子どもたちが好きなまち、将来出て行ってもまた帰って来たくなくなるふるさと、そんなまちを作りたい”小さなことだけど、一人ひとりの思いもできるだけ拾い上げる、そんな心遣いにほっこりとさせられた。

(記：K編集委員)

5 湖南地区まちづくり協議会



主な実施事業

H 25

- ・健康づくりセミナー
- ・男の料理教室
- ・世代間交流絆運動会

H 26

- ・健康づくりセミナー
- ・男の料理教室 (ジビエ料理)



徳田さん

湖南地区取材して一番に感心したことは、次世代にどうやったらうまくバトンタッチしていけるかを考えているということです。これまであまり活発ではなかった地域の老人クラブ(名称はさまざま)を、この2年で活動を活性化されていることは、すごいことだと思いました。湖南地区は車で移動すると端から端の集落の間が15分くらいはかかる広い地域なので、小さな単位での活動が必要だということに着目して動いているところも、実態に合っていると思いました。

今後、男のおひとりさまが自力で暮らしていける力をつけるためにも料理教室のあり方を見直そうとされている点も先進的と感じました。お膳立てされてつくるだけの料理教室ではなく、始末まで、また、残った食材を使って工夫して料理ができるようになるのもまじかだと思います。

モデル事業をきっかけに、女性の力をまちづくりに活かせる場づくりができつつあるようです。(記：Y編集委員)

平成 26 年度鳥取市男女共同参画自主企画事業

※男女共同参画社会の実現に資する研究・イベントなどを企画した団体・市民グループなどに開催業務を委託するものです。

あなたの大切なものは 何ですか？

～災害時に見る女性の人権～

(12/19 さざんか会館)



2014年12月19日「あなたの大切なものは何ですか？～災害時に見る女性の人権～」をテーマに、初めての学習会を開きました。好きなおのいのエピソードを交えながら自己紹介をし、初めて顔を合わせるメンバーも、すぐになじむことができました。東日本大震災から約4年が過ぎようとしているが、忘れてはいけないことや、年月がたったことで被災者の気持ちも、環境も変化していることなど、無関心でいたら気づけず、感じずに過ぎていってしまうことだと改めて感じさせられた時間でした。

～私らしく伝えたい！女性のための～

ハッピーコミュニケーション

(2/7・3/8 高齢者福祉センター)



2015年2月7日、～私らしく伝えたい！女性のための～ハッピーコミュニケーションをテーマに、2回目となるセミナーを開催しました。今回と、3月8日の2部構成で、鳥取県全域で女性と子どもをキーとし活動されている『女性と子どものエンパワメントeラボ』代表の繁原さんを講師に迎え、コミュニケーション能力を高め自分らしさを引き出すような内容のセミナーを開催しました。

その中で、アサーションについて簡単な説明がありました。自分の気持ちや意見を素直に表現すること、なおかつ相手の気持ちや意見にも素直に耳を傾ける、自分も相手も大切にしたい自己表現の仕方を学び取り入れることが心地よい生活を送れるとわかりました。

普段頑張りすぎている人、自分の意見が言えなくてもどかしい気持ちを持っている人、周りの人とうまくやっていけないなと悩んでいる人、そんな悩みや苦しみが少しでも解放されるきっかけの時間であつたら良いと思います。

(団体紹介) わたしを求めて「GO!!YAH!!」

女性自身が社会に自由に羽ばたくために「パワー」をつけることからスタートしようと集まったとても柔軟な会です。



「ゴヤっさん。」

【輝なんせ鳥取】
鳥取市男女共同参画センター

〒680-0022 鳥取県鳥取市西町2丁目311番地 (鳥取市福祉文化会館内)
TEL・FAX (0857) 24-2704
E-mail danjyo@city.tottori.lg.jp
URL <http://www.city.tottori.lg.jp/>